

今後の除排雪事業に関する緊急要望



市長に緊急要望を提出する会派等代表

令和4年7月4日、札幌市議会自由民主党議員会は、自由民主党札幌市支部連合会とともに、昨冬の記録的な大雪により、市民生活に大きな影響がでたこと、さらに原油価格や物価の高騰など消費者や企業の厳しさが増していることから、市民生活に支障が生じないよう万全の対策を講じられるよう、秋元市長に直接申し入れました。

下記内容は、当日提出した「緊急要望」の内容です。

令和4年7月4日

札幌市長 秋元 克広 様

札幌市議会自由民主党議員会
会長 山田 一仁

今後の除排雪事業に関する要望について

日頃から、札幌市の除排雪事業に関しまして、市民が快適に冬を過ごせるよう、ご努力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、札幌は昨冬記録的な大雪に見舞われ、市民生活は大変な混乱を極め、札幌市の雪対策事業費も初めて300億円を超えるに至りました。

これらの財源確保については、我が会派からの国への働きかけの成果もあり、昨年度の特別交付税は前年度約6割増の49億5千万円と過去最高額となり、雪対策事業費にも充てられました。

しかしながら、長期化するコロナ禍に加え、ロシアによるウクライナ侵略などの影響から、国内でも原油価格や物価の高騰など消費者や企業の厳しさが増している現状は、事業者の経営に深刻な打撃を与え、従事する方々の給与等の不安定にもつながりかねない状況になっております。

このままでは、札幌市の雪対策事業は建設業者をはじめとする受託事業者にとって関わるのが難しいものとなり、将来にわたって持続すべき除排雪事業に大きな不安材料となることを危惧するところであります。

これまでも、我が会派は、パートナーシップ排雪制度の改善をはじめ、除排雪事業における効率化や体制の安定化について強く要望してきたところであり、札幌市が推進する「安全・安心で持続可能な冬の環境の実現」を今後も継続し、市民生活に支障が生じないよう様々な観点から検証を行うとともに、別紙記載の点について強く申し入れます。

要 望 事 項

1. 除排雪予算の確保について

事業者が将来にわたり安定的に体制を維持できるよう、必要な予算を継続的に確保するとともに、大雪時においても必要な予算を迅速に確保すること。

2. 除排雪の積算等について

事業者の安定的な体制確保に向け、より作業実態を反映した単価を検討すること。

3. 人材や機材の確保について

事業者の安定的な人材・機材の確保につながるよう、公共工事の発注規模を継続的に確保するとともに、発注方法などについても検討すること。

4. 除雪センターの改善について

除雪センターの人材確保につながるよう、職員単価の見直しや働き方改革に資する24時間体制の見直しなどを検討すること。

5. ダンプトラックの確保について

大雪時を含め、ダンプトラックの確保につながる取組を進めること。また、国に対してダンプトラックの柔軟な運用について働きかけること。

6. 雪堆積場・雪処理施設の確保について

排雪作業のより一層の効率化に向けて、雪堆積場を拡充するとともに雪処理施設の拡充についても検討すること。

7. 生活道路の排雪支援制度について

現行のパートナーシップ排雪制度と市民助成トラック制度について、見直しに向け検討すること。